

○ 養ほう振興法施行規則の一部を改正する省令案 新旧対象条文
 養ほう振興法施行規則（昭和三十年農林水産省令第四十五号）

（傍線部分は改正部分）

| 改正案 | 現行 |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">養蜂振興法施行規則</p> <p>（届出）</p> <p>第一条 養蜂振興法（以下「法」という。）第三条第一項の規定による届出は、毎年一月三十一日までにしなければならない。</p> <p>2 法第三条第一項ただし書に規定する農林水産省令で定める場合は、次に掲げる場合とする。</p> <p>一 農作物等の花粉受精の用に供するために蜜蜂の飼育を行う場合</p> <p>二 密閉構造の飼育管理設備で蜜蜂の飼育を行う場合</p> <p>三 反復利用が可能な蜂房を利用しないで蜜蜂の飼育を行う場合であつて、蜂群配置の適正の確保及び防疫の迅速かつ的確な実施に支障を及ぼすおそれがないと都道府県知事が認める場合</p> <p>3 法第三条第三項の規定による変更の届出は、当該変更の日から一箇月以内に行うものとする。</p> <p>4 法第三条第四項の規定による通知は、法第三条第一項又は第三項の届出を受理した日の属する月の翌月末日までにしなければならない。</p> <p>（転飼養蜂の許可申請）</p> | <p style="text-align: center;">養ほう振興法施行規則</p> <p>（届出）</p> <p>第一条 養ほう振興法（以下「法」という。）第三条第一項の規定による届出は、毎年一月三十一日までにしなければならない。</p> <p>（転飼養ほうの許可申請）</p> |

第二条 法第四条第一項の規定による許可の申請は、その都道府県の区域内において蜜蜂の飼育を始める日の二箇月前までに、次の事項を記載した申請書を提出してしなければならない。

一 住所及び氏名（法人の場合にあつては名称及び代表者の氏名）

二 蜂群数

三 転飼しようとする場所及び期間

（許可証の交付等）

第三条 都道府県知事は、法第四条第一項の規定による許可をしたときはその申請者に別記様式による許可証を交付し、その許可をしなかつたときはその申請者に対しその旨を通知しなければならない。

2 養蜂業者は、法第四条第一項の規定による許可を受けて転飼するとき、前項の許可証を携帯しなければならない。

第四条 削除

（蜂蜜の表示）

第五条 法第七条第一項の規定による表示は、一缶又は一瓶ごとに、同項の規定により表示すべき事項を記載した証紙又はレーベルを、容器の見やすい箇所に貼り付けてしなければならない。

第二条 法第四条第一項の規定による許可の申請は、その都道府県の区域内においてみつばちの飼育を始める日の二箇月前までに、次の事項を記載した申請書を提出してなければならない。

一 住所及び氏名（法人の場合にあつては名称及び代表者の氏名）

二 ほう群数

三 転飼しようとする場所及び期間

（許可証の交付等）

第三条 都道府県知事は、法第四条第一項の規定による許可をしたときはその申請者に別記様式による許可証を交付し、その許可をしなかつたときはその申請者に対しその旨を通知しなければならない。

2 養ほう業者は、法第四条第一項の規定による許可を受けて転飼するとき、前項の許可証を携帯しなければならない。

第四条 削除

（はちみつの表示）

第五条 法第六条第一項の規定による表示は、一かん又は一びんごとに、同項の規定により表示すべき事項を記載した証紙又はレーベルを、容器の見やすい箇所にはり付けてなければならない。

別記様式

| | |
|--|--|
| 年 第 号 | |
| <u>蜜蜂転飼許可証</u> | |
| 住 所 | |
| 氏名又は名称及び代表者氏名 | |
| <u>蜂 群 数</u> | |
| 転飼の場所 | |
| 転飼の期間 | |
| その他の条件 | |
| 年 月 日 | |
| 都 道 府 県 知 事  | |

用紙は、
横 縦
25.7 18.2
センチメートル
センチメートル

別記様式

| | |
|---|--|
| 年 第 号 | |
| <u>みつばち転飼許可証</u> | |
| 住 所 | |
| 氏名又は名称及び代表者氏名 | |
| <u>ほ う 群 数</u> | |
| 転飼の場所 | |
| 転飼の期間 | |
| その他の条件 | |
| 年 月 日 | |
| 都 道 府 県 知 事  | |

用紙は、
横 縦
25.7 18.2
センチメートル
センチメートル

